

第 36 回福岡県少年軟式野球大会 大会細則

- 1 本大会の全ての試合は、2021 年度全日本軟式野球連盟（学童規則）と本大会特別規則による。
- 2 登録選手は、1 チーム 20 名以内とし、代表 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、救護係 1 名、球数係り 1 名のベンチ入りを認める。「監督不在の場合は、試合開始前に申し出て承認を得ること」
- 3 試合球は、全軟公認マルエス J 号球・バットは全軟公認少年軟式野球用とする。
- 4 投手（同一人物）は、1 日 80 球（県連規定）を超えて投げてはならない。
（エキストライニング）も含む、但し試合中規定投球数に達した場合は、その打者が、完了するまで投球出来る。
- 5 故意四球（申告敬遠）守備側のチームの監督が主審に敬遠を申告することで、投手は投げることなく打者を 1 塁に歩かせることが、出来る。（投球数には、カウントされない）
- 6 捕手は、必ず公認のマスク、プロテクター・レガースを着用する。
※マスク・ヘルメット一体型のもの使用できない。
- 7 打者・走者・次打者・ランナーコーチは公認ヘルメットを使用する。
- 8 登録選手は、正規のユニフォームに背番号（0 から 27 まで、主将は 10）を表示し、監督（30）、コーチ（28・29）も同一ユニフォーム、帽子、スパイク（アップシューズ）を使用する。
※スパイク（アップシューズ）の色は、同一色に統一し、他の色は認めない。
- 9 各チームは、開始 30 分前に集合し、各パートの責任者にメンバー表を 4 部提出する。
- 10 試合時のベンチ使用は組み合わせの若番チームを一塁側とする。
- 11 試合開始予定時刻を経過して、試合が行えないチームは、放棄試合とみなし、相手チームに勝利を与える。
※ただし、試合開始時刻を変更する場合もあるので責任者に確認してください。
- 12 試合中のベンチ内での喫煙、飲食、飲酒等の行為を禁止する。またベンチ内の指導者、代表、マネージャー等についても必ず帽子を着用する。
※サングラス・携帯等の使用も禁止する。指導者等が選手に対しての暴力、暴言についても禁止する。
- 13 本大会の試合は、7 回戦とし、90 分以降は新しいイニングには入らない。
 - ①初日、終了時点で同点の場合はエキストラ・イニング 1 回（無死満塁打者継続とする）で抽選にて勝敗を決する。
 - ②二日目及び準決勝については、終了時点で同点の場合はエキストラ・イニング 2 回（無死満塁打者継続とする）で抽選にて勝敗を決する。
 - ③決勝についても、90 分とし終了時点で同点の場合はエキストラ・イニング（無死満塁打者継続とする）で勝敗を決する。
※制限時間については、主審の判断に委ねることを厳守する。
- 14 次の場合は、コールドゲーム等が成立し、試合は終了する。
 - ① 5 回以降、7 点以上の得点差がついたとき。（ただし、決勝についてはこれを適用しない）
 - ② 5 回終了後、降雨、日没等で審判団が続行不可能と判断したとき。
- 15 試合中における審判の判定に対する抗議、やじ等は絶対にしないこと。
ただし、ルールに関する抗議は監督のみ認める。
- 16 選手交代は、監督自ら球審に申し出るものとする。
- 17 ファウルボールの処理は、ボールの近いベンチチームで処理する。
- 18 ネクストバッターは、投手が投球姿勢に入った場合、ネクストバッターサークル内で静止し、

待つこと。

- 19 試合終了後、両チームは次の試合に備えてベンチ内及びグラウンド整備（ライン引き）を行うこと。
- 20 チーム責任者及び監督は、自チームの応援態度には責任をもつこと。
（太鼓、笛、紙ふぶき、メガホン等は使用を禁止する）
- 21 試合終了後、会場をはなれる時は、必ず本部に連絡し、勝利チームは、次回の日程と会場を確認すること。

◇大会において不正を行ったチームに対する措置

- 1 試合中に発見された場合は没収試合とし、相手方に勝利を与える。
- 2 試合終了後に発見された場合は、次の試合の相手方に勝利を与える。
- 3 個々の選手の不正行為はチーム（監督）責任とする。
- 4 不正行為チームは、次回からの大会・試合には出場できない。

◇大会注意事項

- 1 大会開催中は、指定駐車場以外への車の乗り入れは禁止する。
- 2 大会参加チームは、必ず傷害保険に加入し、出場すること。
- 3 大会への参加は、他の大会への重複しないこと。
- 4 試合中の負傷・事故に関しては、応急処置は行うが以降の処置については本大会としては一切責任を負わない。
- 5 本大会の緊急病院は大会本部にて指示します。
※各会場責任者の指示に従って下さい。
- 6 試合前の練習時にユニフォームを着用していない指導者、保護者がグラウンド内に立ち入ることを一切認めない。
（なお、熱中症対策で水分、氷、タオルなどの搬入の際にベンチ内に入ってもよいとする）
- 7 代表者、スコアラー、は選手と同一の帽子を着用すること。救護、消毒係り 1 名、球数係り 1 名
（熱中症対策、コロナ感染対策、球数係りでベンチに入る保護者はこの限りではない。）
- 8 大会期間中 何らかの理由で拠点とする小学校が、休校になった場合は、その報告を直ちに大会事務局に、連絡し、大会本部にて指示を仰ぐ事とする。

※ その他

- ・今大会は、熱中症予防のため 5 分間の休憩を設ける。（45 分を目処に、回の裏が終了時点）
- ・5 分間の休憩時間は、試合時間に含まない。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為 第 2 試合目以降のチームは球場入り時間を、必ず厳守すること。早く到着した場合は、駐車場で、待機する事とする。